

【優 秀 賞】



氏 名 ケー ジン ウー
国・地域 ミャンマー
在日期間 8ヶ月
所 属 神村学園専修学校

タイトル：心の支え

皆さんにとって心の支えになる大切なものがありますか。お金、友達、小学生の時はランドセルかなあ。大切なものは、年を重ねるにつれて変わるとは思いますが、私にとっての心の支えは、いつも一つだけです。

私は小学生から高校生まで仲良しの友達が1人いました。私たちは同じ大学に行く約束をしていましたが、その子は高校を卒業してすぐ結婚してしまいましたから、大学には行きませんでした。私は大学に入りましたが、自分が何をしたいのか分からなくて、ただ1人だと寂しいというだけで大学をやめようと思って母に言いました。「お母さん、私、大学行かなくてもいい？」すると母は「何で行かないの？」と聞きました。私は「特に理由はないけど、1人だと寂しいし」と答えました。その時、母は「ねえ、よく聞いて。人間は生まれてからずっと1人じゃないよ。目に見えない友達がいるの。それは勇気とやる気よ」と教えてくれました。その時「勇気とやる気が友達って、変な感じ」と思いましたが、私はとりあえず大学に行くことにしました。

私は大学で英語を専攻していましたが、姉が日本語を勉強していたので、英語よりも日本語に興味を持つようになり、日本に留学することにしました。でも、コロナの影響で日本へ行く飛行機の便数はとても少なくて、私は去年の6月にやっと日本に来ることが出来ました。2か月も遅れて入学した私にとって、みんなに追いつくのはとても大変でした。留学生活が大変なことは覚悟して来ましたが、授業も友達作りも難しかったです。その時、私は「どうしよう」と、また不安な気持ちになりました。でも、その時、母が言ってくれた「人間は1人じゃない。勇気とやる気、その2つをちゃんと使えると必ず成功出来る」という言葉を思い出しました。

私は夜になると、今日の私はどういう人だったか考える癖があって、その日の自分の行動や、自分が言った言葉を反省します。そうすると、今日の自分がどんな人だったのか、どれくらい成長できたのか、まだ成長していないのかよくわかってきます。せっかく日本に留学するチャンスを掴んで来日したのに、くよくよしているなんて。私はまだ成長していない、高校生のままだ。母が教え

てくれたことを無駄にしないために、私は勇気とやる気を頑張って使いました。母のお陰で、マンマー人が1人しかいないクラスで新しい友達や、目に見えない友達と楽しく勉強しています。「お母さん、私はお母さんの子どもとして生まれてきて良かったです。いつもお母さんの言葉を思い出して、前に進んでいますから安心してください」今まで恥ずかしくて言えなかったけど「お母さん大好きです」私にとっての心の支えは母です。